

## ❖ Information Letter 2008 Autumn

Helping you become  
an effective communicator  
in the international setting!

暑さも和らぎ、過ごしやすい季節になってまいりましたが、皆様お元気でいらっしゃいますか。

このインフォメーションレターでは、K/Hシステム主催のコースや出版物に関する最新情報をお届けします。一般公開コースや企業内研修の特集をはじめ、出版予定の書籍の内容など、詳しくお知らせします。

- |            |     |   |
|------------|-----|---|
| ■ Contents | 特集1 | K/Hシステム 英語プログラム:年間スケジュール                                      |
|            | 特集2 | 英語力飛躍のカギを握る『構文力強化』<br>- 中上級構文パターンの紹介!<br>- 大統領候補指名受諾演説の構文を分析! |
|            | 特集3 | 第4期フェローシップ プログラム(秋季)<br>上級スピーキングコース                           |

## 特集1 K/Hシステム 英語プログラム 一般公開コース:年間スケジュール

K/H システム実力英語講座、2008年度後半のスケジュールは以下を予定しています。年に2回実施している一般公開コースでは日米の企業研修を通じて得た新しい視点やノウハウを常に反映させ、参加者の方々に より効果的かつ効率的に学んでいただけるプログラムであるために改善を重ねています。年間を通じて、体系的に、着実に英語力を伸ばしていくためマイルストーンやペースメーカーとしてご活用ください。

### □ 2008年 秋季:11月の3連休

#### <一般公開コース 短期集中プログラム>

10月25・26日 1日半	英語力強化 エントリーレベルコース
11月1-3日 半日3日	英語力強化 コアコース/ビジコミ強化 コアコース
11月8・9日 半日2日	実践強化 リスニングコース/スピーキングコース

#### <長期リピーターコース 4ヶ月プログラム>

- ①11月15日、②12月6日 PM、③1月17日 PM、④2月7日  
第4期 秋季フェローシップ・プログラム:上級スピーキング

2009年 春季コースは、ゴールデンウィークと前後の土日に開催を予定しています。  
コースに関する詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。(URL: [www.KH-system.com](http://www.KH-system.com))

## 特集2 英語力飛躍のカギを握る『構文力強化』

近年、中上級者向けの研修で特に焦点を当てている強化項目に、「構文力」があります。ここで言う「構文」とは、「長くて複雑な構文」なのに、ネイティブがよく使うので「頻出するパターン」のものであります。これまでも、K/H システム既刊本(特に「ワークブック」)で「パターン構文」として紹介してきましたが、中上級レベルや継続学習者を対象とする研修では、特に重視しています。

### 「長くて複雑な 中上級レベルの頻出構文」

日常会話なら短い文でたいていは済みますが、ビジネスの場で自分の意見を主張したり、状況や立場を説明したりするとなれば、ある程度複雑な概念を丁寧に説明する必要が出てくるため、どうしても構文が長く、複雑になります。実は、こうした構文には頻出する「典型的なパターン」があるのですが、残念ながら私たちは案外慣れていないために、聞き取りで非常に苦労することになり、ましてやスピーキングではなかなか使いこなせません。こうした一見長くて複雑ながら、実は「よく出てくるパターンの構文」に慣れておけば、長い文でも比較的余裕を持って、落ち着いて、正確に聞き取り、話せるようになります。

中上級レベルの頻出構文の代表格の例を見ていきましょう。

#### (1) 名詞＋修飾節 まずシンプルな名詞を置いて、後ろから名詞の中味を詳しく文で説明するパターン

👉 日本語は修飾部分が先に来て、その後で修飾する対象となる名詞がくるのが普通なのに対し、英語が全く逆の順序で情報がくるため、私たちが苦手とする構文です。

・I think grammar is **the area** I need to work on the most to improve my English skills.

(英語力を上げるのに、私が一番努力しなきゃいけない分野は文法だと思う。)

・We need to design **a product** that truly meets the needs of the consumer.

(消費者のニーズに本当に合った商品を開発しないとダメだ。)

👉 聞き取りのコツ: 最初の「名詞」をしっかり聞いて、後ろからその名詞を説明する詳細がくるのを落ち着いて、楽しみに待つ!

👉 スピーキングのコツ: まず安心して「名詞」をポンと置いて、それからゆっくりと詳しい情報を後ろから足していく!

#### (2) 主部が長くなる「頭でっかち」

主語がシンプルな名詞で終わらず、後ろから名詞の中味を詳しく説明した上で、述語動詞が離れてくるパターン

👉 主部には、名詞に ①前置詞＋名詞、②現在分詞～ing、③修飾節などで情報が足されてきます。主部の「何が」が長く、なかなか述部の「どうした」のがこないのが、常に構文を追っていないと正確にメッセージが捉えられなくなります。

・**The chart** showing the breakdown of the cost **is** attached at the end of the report.

(コストの内訳を表したチャートは、報告書の最後に添付されています。)

・**One of the things** that we need to do this week **is** to make our decision on the proposal from ABC Corp.

(今週やらなきゃいけないことのひとつは、ABC社からのプロポーザルについて決定することだね。)

👉 聞き取りのコツ: 最初の「名詞」がきた時点で安心して、文の結論部分の述部を待ちます。主部のところを聞きながら、一方で、常に「それがどうした、それがどうした」と、合の手を入れるようにして述語を待つとGOOD!

👉 スピーキングのコツ: (1)の構文とコツは同じ。後は、自分が主部を話していることを忘れずに、必ず述部を入れること!

中上級レベルの頻出構文を正確に追って聞く訓練は、＜実践リスニングコース＞で行います。＜英語力強化コアコース＞で学んだ基盤力に積み上げる形で、複雑な構文も正確に追いつきながらイメージをつかむ実践訓練を行います。

### (3) “×○(ペケ丸)”構文 「こっちではなくて、こっち」。誤解や解釈の迷いがなく、詳しく説明するパターン

👉 ×(ペケ)⇒○(丸)の順で情報が来ることが多いようです。否定の×(ペケ)情報は、句で来る場合と、節でくる場合があります。否定と肯定の両方がセットであることにこの構文の意味合いがあるので、それだけ長く意味を頭にこすりつけて覚えておく必要があります。

・**Instead of** trying to handle the problem yourself, **you can** always come to me for help.

(自分で問題を何とかしようとせず、いつでも私に言いに来てくれていいんだよ。)

・**We are not trying to** point fingers. **We're trying to** understand what was going on here.

(責任追及をしようとしているんじゃないよ。ここで何が起きていたのか状況を理解しようとしているんだよ。)

👉 聞き取りのコツ: 否定の情報が来たときは、「この後肯定する情報が来るかもしれない」という待ちを作りながら聞き進める!

👉 スピーキングのコツ: 「否定・肯定の両方で1セットのメッセージ!」という意識で、文を作っていく!

## Y アメリカ大統領候補指名受諾演説の、構文を見てみよう!

今年行われた大統領候補指名受諾演説で、各党の代表が使っていた構文を分析したものを以下にご紹介します。

### 共和党代表 John McCain 氏

<<2008年各党全国大会での、大統領候補指名受諾演説からの抜粋>>

× **Instead of** rejecting good ideas because we didn't think of them first,  
○ **let's** use the best ideas from both sides. ... (3) “×○(ペケ丸)”構文

× **Instead of** fighting over who gets the credit,  
○ **let's** try sharing it. ... (3) “×○(ペケ丸)”構文

∴ This amazing country can do **anything** we put our minds to. (名詞+修飾節)

I'll ask Democrats and Independents to serve with me. And my administration will set a new standard for transparency and accountability. We're going to finally start getting things done for **the people** who are **counting on us**, and I won't care who gets the credit. ... (1) 名詞+修飾節

### 民主党代表 Barak Obama 氏

And in the weeks ahead, I look forward to debating them (=the policies) with John McCain.

But what I will not do is suggest that the senator takes his positions for political purposes,

∴ because **one of the things** that we have to change in our politics **is the idea** that people cannot disagree without challenging each other's character and each other's patriotism.

... (2) 主部が長くなる「頭でっかち」+(1) 名詞+修飾節

The times are too serious, the stakes are too high for this same partisan playbook.

So let us agree that patriotism has no party.

I love this country, and so do you, and so does John McCain.

**The men and women** who serve in our battlefields may be Democrats and Republicans and independents,

but they have fought together, and bled together, and some died together under the same proud flag. ... (2) 主部が長くなる「頭でっかち」

× **They have not served** a red America or a blue America;

○ **they have served** the United States of America. ... (3) “×○(ペケ丸)”構文

実践コースで学んだ内容から更にステップアップする<上級フェローシップ・プログラム>でも、「構文力の強化」の基礎訓練の時間を取り入れ、独自の「中上級パターン構文ホキヤル教材」を使い、高度な構文力を継続的に強化しています。

## □ 高度なスピーキング力の強化

**フェローシップ・プログラム：第4期 上級スピーキングコース**が、11月に開講されます。本プログラムは、4ヶ月の通学型コース(月1回×4回)で、長期リピーターの方の継続的な学習をサポートする目的で、年に春季と秋季の2回(春季：上級リスニング／秋季：上級スピーキング)開講しています。両コアコースで学ぶ、K/H システムの方法論と学習視点を既に理解し、実践コースの強化訓練を体験した方が、英語力を一段上のレベルに引き上げるために継続的に英語力を強化する特別プログラムです。(一般公開コースを4コース以上参加された方、または長期の企業内研修を修了された方が対象です。)

## ➤ 今回のテーマ：より「自然」で「正確」な英語を使った、説得力のあるスピーキング力の強化

- ① 自然な語彙表現の選択、② 正確な定型句の使用、③ 高度な構文の運用、
- ④ 聞き手の理解に合わせた十分な説明、⑤ 説得力のある話の展開

### Course Agenda

- 訓練と実戦をバランスよく取り入れ、「自然」で「正確」な英語をアウトプットできる力を養成します。
  - ☑ 訓練ツールには、アウトプット強化に適した「100%シャドーイング」、「ロジックメモベース英語もどし」を主に使い、より自然な英語を能動的に身につけます。クオリティーの高い英語をインプットすることで、スピーキングで使う英語のクオリティーを高めていきます。
  - ☑ PDCAをより徹底的に回した実践練習を行います。パフォーマンスの録音⇒トランスクリプトによる課題の把握⇒対策立案⇒練習⇒発表・・・を繰り返す行いことで、苦手な部分を具体的に特定し、強化する学習サイクルを回します。
- 話の説得力を高める「テンプレート」教材(新規開発教材)を使います。仕事で頻出する様々な場面で(報告、指示、提案、意見を主張する 等)応用できるテンプレートの形を学びます。自然な話の論理展開を身につけると同時に、そこで使われる定型句も正確に覚えることで、職場でより説得力のある英語を使えるようになります。
- 英語のビジネス書のリーディング課題を出し、その章のテーマについての意見・感想をミニスピーチの形で発表してもらいます。アカデミックな内容のリーディングをすることで、スピーキングで使える構文や語彙表現の幅が広がります。また、自然で説得力のある英語の論旨の流れを身につけることができます。
- 職場で案外大事なスモールトークの練習にもフォーカスを置きます。スモールトークで頻出するトピックを使い、そこでよく使われる自然な表現や言い回しを身につけます。実戦の場で使えるようにロールプレイ型のスピーキングも行います。

### 🗣️ 参加者の声

「全体的に更に実践的なトレーニングになってきていて、飽きない講座になっていた。参加者の意識が高く、レベルが高いのでモチベーションが高まる。」「自分の現在の実力を再認識できたため、目標に向かって後どれくらい努力しなければならないのか考えることができた。」「毎回自分のスピーチをトランスクリプトしたことで、自分の発音や文法のクセが身にしみてわかってよかったです。」「講師陣、参加者全員のモチベーションが高く、非常に刺激的で充実した時間を過ごすことができました。」

#### ■ 対象： 主な K/H システムのコースに、4コース以上参加された方(または 3コース+旧 通信講座を受講された方)

- TOEIC 750点以上 (750点以下も、相談の上受講可)\*
- K/H システム 6ヶ月長期企業研修コースに参加された方も対象

\*レベルや受講コースなどに関するご質問があれば、遠慮なくお問い合わせください。

#### ■ 定員： 16名

#### ■ 日程： 11/15(土)・12/6(土)・1/17(土)・2/7(土)\*

\* 11月と2月は 9:00-17:00、12月と1月は 13:00-17:00

#### ■ 長期リピーター特別価格： 49,000円(税込)

#### ■ 申し込み方法： 下記のいずれかの方法でお申込みください。

WEB: [www.kh-system.com](http://www.kh-system.com) トップページ [フェローシップ・プログラム 申込]

電話: 03-3883-2262 (月～金: 9:00-18:00) / FAX: 03-3883-2283 / E-mail: [support@kh-system.com](mailto:support@kh-system.com) \*\*

\*\*右の必要事項を記入の上、お送りください。 [①氏名 ②住所 ③電話連絡先 ④E-mail ⑤会社名 ⑥TOEIC]